

対象年度		令和 7年度		総合計画実施計画策定及び行政評価シート											
事務事業名		中学校施設整備事業						予算事業名		中学校施設整備事業費					
予 算 科 目	会計	01	款	項	目	事業	要求区分	根拠法令							
			10	03	03	20	経常経費								
総合計画体系	未来を担う子どもと 生き生きとした市民を育む地域を目指そう 地域への愛着と誇り、「生きる力」を育む教育環境づくり 安心して学べる学校づくりの推進							事業の区分	主要事業						
								担当課係等	学校教育課						
									施設係						
事業期間		継続 (令和 4年度～ 年度)													
【めざす姿（意図・どのような状態になるのか）】								【事業開始のきっかけや他市の状況など】							
生徒が安全で快適に学ぶことができる教育環境の整備を図る。 教職員が児童を指導するうえで、良好な環境を整備する。								近隣自治体では計画的に大規模改造及び長寿命化改修が進められている。 また、体育館への空調整備が進められている。							
【手段（事業内容・どのようなことを行うのか）】								【対象（だれに対して・何に対して行うのか）】							
○改修工事 ・校舎改修(大規模改造、長寿命化) ・体育館改修（大規模改造、長寿命化、空調整備等） ・外トイレ改築及び改修（老朽化による建物改修及び洋便器化等） ・空調機器改修（職員室、保健室等） ・防火及び消防設備、防犯設備、放送設備（耐用年数を考慮し順次改修） ・高架水槽及び受水槽改修(経年劣化部を順次改修) ・グラウンド及び外構、フェンス改修（経年劣化部を順次改修）								生徒及び教職員							
								【事業をとりまく環境の変化】 学校からの要望件数が校舎の老朽化とともに年々増加し、教育環境の改善が求められている。 老朽化の進行が進んでおり、生徒への安心で安全な教育環境整備の観点から、部分的な改修では改善されない状態となっており、早期の大規模改造又は長寿命化及び建替えを実現したい。							
【令和 7年度 事業内容】				【令和 8年度 事業内容】				【令和 9年度 事業内容】							
・職員室等空調改修(結城中) ・結城中学校 外周フェンス改修 ・結城南中学校武道場屋根改修工事 ・防火、消防設備、防犯設備、放送設備 ・高架水槽 受水槽改修 ・結城中学校外トイレ改築実施設計				・外トイレ(結城中改築、結城東中改修) ・結城東中学校屋上防水改修 ・保健室空調改修(結城南中) ・ ・防火、消防設備、防犯設備、放送設備 ・グラウンド及び外構、フェンス改修 ・高架水槽 受水槽改修 ・結城中学校 校舎大規模改造実施設計				・防火、消防設備、防犯設備、放送設備 ・グラウンド及び外構、フェンス改修 ・高架水槽 受水槽改修 ・体育館大規模改造及び空調整備実施設計							
■事業費															
			R05年度		R06年度										
財 源 内 訳	国	庫	支	出	金	2,273	89,377								
	県		支	出	金	0	0								
	地		方		債	53,700	139,390								
	そ		の		他	0	0								
	一		般	財	源	19,025	54,272								
歳 入 計 (千 円)						74,998	283,039								
歳 出 内 訳	節 (番 号 + 名 称)					金額 (千円)	金額 (千円)								
	12 委託料					7,194	4,345								
	14 工事請負費					67,804	278,694								
歳 出 計 (千 円) (A)						74,998	283,039								
伸 び 率 (%)							277.39								
備 考	結城市は近隣自治体が実施している大規模改造や長寿命化工事を一切実施できておらず、内装材及び給排水等の老朽化、雨漏れ、外壁材落下の危険性があるなど、早急な対策を講じる時期をむかえている。また、財政的な事情もあるが平準化できるよう、毎年度一校でも大規模改造や長寿命化工事を進めるべきである。 総合計画 99 ページ 予算書 183 ページ														

令和 5年度行政評価シート

■指標

種類	指 標 名	単 位		R05年度	R06年度	R07年度
活動 指標	駐輪場改築工事	校	目標	1.00	0.00	0.00
	現在とは別部に駐輪場を建設し、現駐輪場の解体撤去後に碎石敷き駐車場		実績	1.00	0.00	0.00
	校舎及び体育館改修工事		目標	0.00	1.00	1.00
	経年劣化が進行している施設等の大規模改修又は長寿命化等		実績	0.00	0.00	0.00
成果 指標			目標	0.00	0.00	0.00
			実績	0.00	0.00	0.00
			目標	0.00	0.00	0.00
			実績	0.00	0.00	0.00

■事業評価

必要性	事業の必要性	A 必要性は高い	教育環境整備のため必要である。
妥当性	実施主体の妥当性	A 妥当である	行政以外では実施でない事業である。
	手段の妥当性	A 妥当である	現在の手法が一般的である。
効率性	コストの効率性・人員効率	A 改善の余地はない	施設の老朽化が進むにつれ、一件の工事規模が大きくなる傾向にあり、工事に係る準備や設計、学校側との連絡調整に人員や時間を要する。
公平性	受益者の偏り	B どちらとも言えない	改善要求及び必要のある施設について対応はできている。
有効性	成果向上の余地	A 上がっている	緊急性・重要性の高い案件を優先的に整備し、一定の効果は得られている。
進捗度	事業の進捗	C 遅れている	突発的な改修及び社会情勢に合わせた整備、事業費の増加により見直しが必要である。
総合評価 上記評価を踏まえて事業全体について評価し、問題点・課題等を指摘してください			
緊急対応工事は実施できる状態であるが、計画通り事業は進んでいないのが現状である。交付金等を最大限活用し事業を進めるようにすると共に、財政部局等と計画通りの事業実現にむけ協議を進める。			
対応策提言等 この事業を今後どのように改善・改革をしていきますか			
学校施設個別施設計画に基づき、計画の見直しをするとともに事業の平準化を図っていく。			

■方向性

1 次評価（1 次評価者として判断した今後の事務事業の方向性（改革・改善策）） ☐ 拡充（人・モノ・カネ等の拡充） ☒ 改善改革しながら継続 ☐ 現状のまま継続（改善・改革なし） ☐ 統合・新規事業への展開 ☐ 縮小 ☐ 休止 ☐ 廃止・終了 ☐ 予定どおりの要求 ☐ 一部改善の上要求 ☐ 今回は見送り ☐ その他の処置	
方向性の具体的内容 個別施設計画に基づく整備を基本に、体育館への空調設置など新たな課題に対応していく。	
2 次評価（2 次評価者として判断した今後の事務事業の方向性（改革・改善策）） ☐ 拡充（人・モノ・カネ等の拡充） ☐ 改善改革しながら継続 ☐ 現状のまま継続（改善・改革なし） ☐ 統合・新規事業への展開 ☐ 縮小 ☐ 休止 ☐ 廃止・終了 ☐ 予定どおりの要求 ☐ 一部改善の上要求 ☐ 今回は見送り ☐ その他の処置	
企画調整会議の意見・考え方（1 次評価者と同じ場合も記入） 上記評価のとおり	